

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	北九州市社会学論
科目基礎情報					
科目番号	0045		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	生産デザイン工学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	1	
教科書/教材	【参考書】 「北九州市成立過程の研究」 徳本正彦、(九州大学出版会) 「炎と緑と - 北九州の歩み」 (西日本新聞社)				
担当教員	西田 心平, 白神 宏				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市の地政学的な特徴や市として成立するまでの旧五市合併の経緯について知ることができる。</li> <li>・北九州市の都市経営のあり方とその特徴について理解できる。</li> <li>・住民自治や福祉の面で北九州市が抱えている課題について理解できる。</li> <li>・北九州市の今後の発展にむけて必要な視点を養うことができる。</li> </ul>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	北九州市の地政学的な特徴や市として成立するまでの旧五市合併の経緯について十分知ることができる。		北九州市の地政学的な特徴や市として成立するまでの旧五市合併の経緯についてほぼ知ることができる。		北九州市の地政学的な特徴や市として成立するまでの旧五市合併の経緯について知ることができない。
評価項目2	北九州市の都市経営のあり方とその特徴について十分理解できる。		北九州市の都市経営のあり方とその特徴についてほぼ理解できる。		北九州市の都市経営のあり方とその特徴について理解できない。
評価項目3	住民自治や福祉の面で北九州市が抱えている課題について十分理解できる。		住民自治や福祉の面で北九州市が抱えている課題についてほぼ理解できる。		住民自治や福祉の面で北九州市が抱えている課題について理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SD② 専攻分野の専門性に加え、他分野の知識も学習し、幅広い視野から問題点を把握できる。 専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SE① 歴史・文化・日本文学(国語)・外国語を学び、多様な文化を理解できる。 専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SF① 歴史・文化・社会に関する知識を持ち、それらを示すことができる。 専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SF② 工業技術と社会・環境との関わりを理解し、社会・環境への効果と影響を説明できる。					
教育方法等					
概要	北九州という地は日本の近代化を支えた典型的な地方都市の一つである。それだけに、この都市の成り立ちとその発展は、国策の推進や産業基盤の整備といった観点から、主に政治や経済のトップリーダーの意向を強く反映してきた。本授業では、そうした特徴をもつ北九州市の歩みについて理解を深めつつ、その中で積み残されてきた今日の課題について検討する。その上で、今後の北九州市の発展のあり方について受講生と共に考察したい。				
授業の進め方・方法	教員が作成した配布資料を基に授業を進めるが、参考書を適宜紹介していく。必要に応じて、各学生がレジュメに基づく発表、レポート作成を課す。予習・復習は必須である。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	北九州市の都市的特性(1)	北九州市の都市的特性について理解を深める。	
		2週	北九州市の都市的特性(2)	北九州市の都市的特性について理解を深める。	
		3週	北九州市の都市的特性(3)	北九州市の都市的特性について理解を深める。	
		4週	日本の経済社会情勢(1)	日本の高度成長期からの産業構造の転換について理解を深めつつ、わが国の経済社会情勢の現状を検証する。	
		5週	日本の経済社会情勢(2)	日本の高度成長期からの産業構造の転換について理解を深めつつ、わが国の経済社会情勢の現状を検証する。	
		6週	日本の経済社会情勢(3)	日本の高度成長期からの産業構造の転換について理解を深めつつ、わが国の経済社会情勢の現状を検証する。	
		7週	日本の経済社会情勢(4)	日本の高度成長期からの産業構造の転換について理解を深めつつ、わが国の経済社会情勢の現状を検証する。	
		8週	世界の経済社会情勢(1)	アジアの台頭、ヨーロッパの政治的混乱、アメリカの凋落など、Gゼロ時代における世界の経済社会情勢について理解を深める。	
	4thQ	9週	世界の経済社会情勢(2)	アジアの台頭、ヨーロッパの政治的混乱、アメリカの凋落など、Gゼロ時代における世界の経済社会情勢について理解を深める。	
		10週	経済社会の見方・考え方(1)	これまでの経済社会情勢を踏まえて、経済学的考え方について理解を深める。	
		11週	経済社会の見方・考え方(2)	これまでの経済社会情勢を踏まえて、経済学的考え方について理解を深める。	
		12週	経済社会の見方・考え方(3)	これまでの経済社会情勢を踏まえて、経済学的考え方について理解を深める。	
		13週	北九州市の発展像(1)	日本および世界の歴史的・経済的背景を踏まえ、これからの北九州市や自らの役割について考察する。	
		14週	北九州市の発展像(2)	日本および世界の歴史的・経済的背景を踏まえ、これからの北九州市や自らの役割について考察する。	
		15週	まとめ		
		16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0